**ハンドマイク街頭演説原稿例　　今こそ日本共産党を大きく**

二〇二三年六月九日　日本共産党埼玉県委員会・作成

ご近所のみなさん、こんにちは。日本共産党です。本日はこの場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　みなさん、今国会が大変なことになっています。今までだったら何カ月も時間をかけ、場合によっては国会の会期を延ばしたり次の国会に持ち越したりしてじっくり審議するような、国の進路を大きく左右する重大法案が、１カ月くらいのごく短時間の審議で次々と強行されています。マイナ保険証をめぐる深刻なトラブルが次々と明らかになっているにもかかわらず、健康保険証を廃止してマイナンバーカードに一本化する法律改定や、原子力発電の活用を明記し、六十年を超える原発も運転し続けられるようにする一連の法律が、自民・公明の与党に加え、日本維新の会や国民民主党も賛成して可決されました。また、日本で暮らす外国人の命を危険にさらすとして、市民からの強い反対の声が上がっている入管法改悪案も、自民、公明、維新、国民民主によって強行しようとしています**（＊国会の審議状況に注意＊）**。まさに自民、公明、維新、国民民主が「悪政４党連合」となっているのではないでしょうか。

　みなさん、日本共産党は「悪政４党連合」による憲法と平和と民主主義をこわす流れときっぱり対決し、この危険な流れを打ち破るために全力で取り組んでいます。国会では、数々の悪法の問題点を明らかにし、法律改定の根拠がないことをはっきり示す論戦を繰り広げてきました。国民の命と暮らしを守るため、悪政と正面から対決する日本共産党に、さらなるご支援をいただきますよう、お願いいたします。

　一方、自民、公明、維新、国民民主の「悪政４党連合」の悪政の流れを断ち切るためには、市民と野党のしっかりとした共闘が、どうしても必要です。みなさん、悪政を破る市民と野党の共闘を強く大きくとの声をご一緒にあげましょう。日本共産党は市民と野党の共闘の実現と発展のため、これまでも全力で取り組んで参りました。これからも共闘の再構築へ、引き続き全力を上げる決意です。市民と野党の共闘の「扇のかなめ」の役割を果たしてきた日本共産党を、今こそ強く大きくしてください。

　ところでみなさん、いま、多くの政党が「改革」という言葉を使っています。しかしながら、日本共産党以外の政党が言わない問題が二つあります。一つは「こんなアメリカ言いなりの国でいいのか」。もう一つは「こんなに財界のもうけ最優先の国でいいのか」。この二つです。日本共産党はアメリカ言いなり、財界最優先というゆがんだ政治を変え、国民が主人公の日本を実現しようと訴え、政策を提案しています。安心し、希望をもって暮らせる日本を実現するためにも、日本共産党を強く大きくしてください。どうぞよろしくお願いいたします。

　政治や社会の問題、気候危機、ジェンダー平等など多彩な記事満載の「しんぶん赤旗」を、この機会にぜひご購読いただきますようお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）